

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 18 号

第 18 週(5月 2日 ~ 5月 8日)

発行年月日:平成17年(2005年) 5月 12日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (18週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (18週)	全国 (18週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	3	201	9	576
	腸チフス	0	0	20	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	260	21	3,640
4類感染症	E型肝炎 ^{(*)2}	0	0	18	1	34
	オウム病	0	0	22	1	39
	デング熱	0	1	12	2	45
	マラリア	0	0	21	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	1	217	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	98	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	24	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	1	332	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	17	2	85
	梅毒	0	0	158	4	516
	破傷風	0	0	26	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	29	0	49
急性脳炎	0	0	80 ^{(*)2}	1	164	

*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:平成17年第15週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

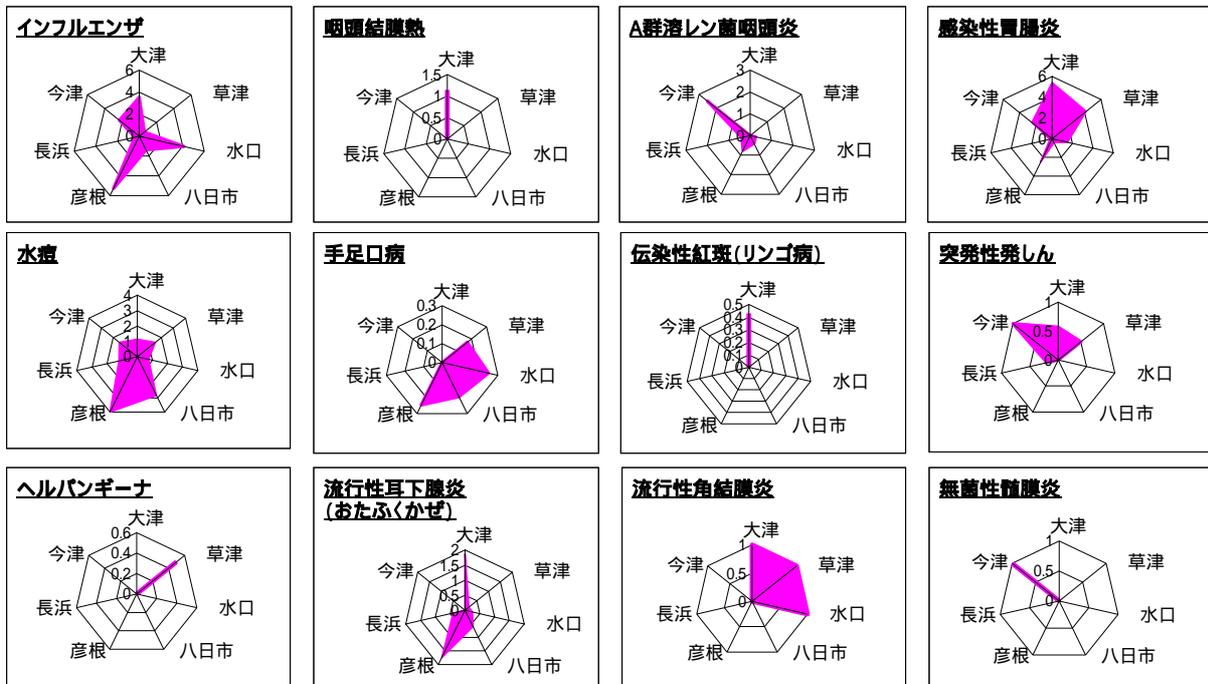
(1) 疾病別・週別発生状況(第13~18週, 3/28~5/8)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	13週	14週	15週	16週	17週	18週	週				
	(3/28~)	(4/4~)	(4/11~)	(4/18~)	(4/25~)	(5/2~)	14	15	16	17	18
インフルエンザ	11.57	6.22	6.25	4.84	5.96	2.57					
RSウイルス感染症	0	0	0.03	0	0	0					
咽頭結膜熱	0.03	0.03	0.12	0	0	0.24					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.55	0.30	0.73	0.55	0.73	0.39					
感染性胃腸炎	3.52	2.76	3.97	3.85	3.88	2.64					
水痘	1.36	1.67	1.45	1.58	1.76	1.79					
手足口病	0.21	0.12	0.06	0	0.06	0.12					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0.06	0.09					
突発性発しん	0.73	0.52	0.52	0.36	0.24	0.30					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.15	0	0.15	0.09					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.91	0.91	1.15	0.52	0.58	0.82					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.14	0.29	0.43	0.71	0	0.43					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第18週、5/2～5/8)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	2.57	3.55	0.60	4.14	1.38	5.29	0.40	2.33	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.24	1.14	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.39	0	0	0.25	0.40	0.75	0.40	2.50	
感染性胃腸炎	2.64	5.43	4.17	1.50	0.40	2.50	0.20	2.50	
水痘	1.79	1.14	1.50	0.75	2.80	4.00	1.20	1.50	
手足口病	0.12	0	0.17	0.25	0.20	0.25	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.43	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.30	0.57	0.50	0	0	0	0.20	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.09	0	0.50	0	0	0	0	0	
麻疹(成人麻疹を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.82	1.86	0.17	0.25	0.60	1.75	0.40	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	1.00	1.00	1.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	0	1.00	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。手足口病は先週より増加し草津、水口、八日市および彦根から報告されています。伝染性紅斑は先週に引き続き大津から報告されています。また、無菌性髄膜炎が今津から報告されており、風しん(三日はしか)については草津から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

* 感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

インフルエンザの発生は先週より減少 水痘の発生は増加傾向

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(4月25日～5月1日)の報告数よりかなり少なくなっています。先週、微増を示したインフルエンザについても大幅に減少しています。今週、増加を示した疾患は咽頭結膜熱、水痘、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

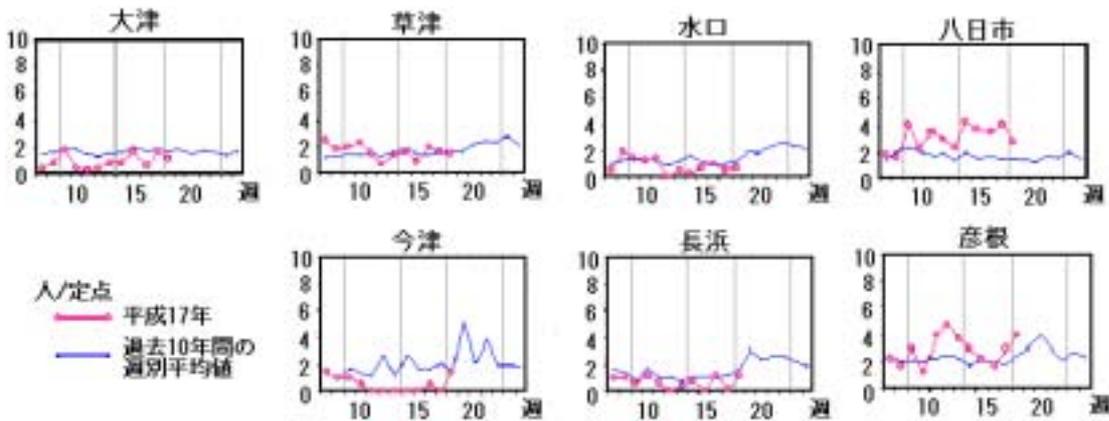
インフルエンザについては、先週の定点当たり患者数5.96より減少し2.57となっています。各保健所管内の定点当たり患者数は0.40～5.29で推移しており「感染症の流行の警報・注意報システム」による**流行発生警報**または**流行発生注意報**は出されていませんが、大津保健所管内においては学級閉鎖の発生がみられますので今後も引き続き感染予防に注意する必要があります。

咽頭結膜熱については、増加のきざしがあり定点当たり患者数は0.24となっており、特に大津保健所管内の定点当たり患者数は1.14と多くなっています。

A群溶レン菌咽頭炎については、先週の定点当たり患者数0.73より減少し0.39となっていますが、今津保健所管内においては2.50と先週に引き続き多くなっています。

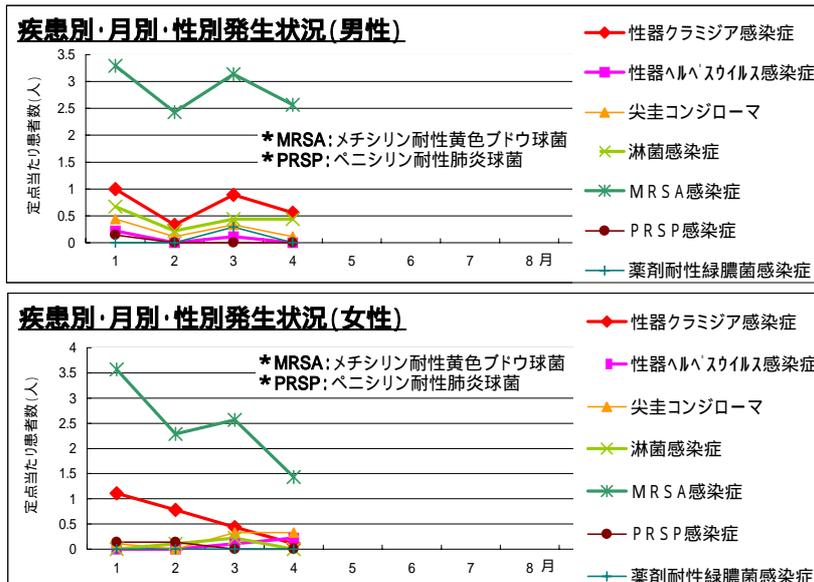
水痘については、3週間連続して増加しており今週の定点当たり患者数は1.79となっています。特に彦根保健所管内の定点当たり患者数は4.00と多くなっています。

水痘の保健所管内別発生状況(平成17年第18週)



第18週の発生状況についてみると、八日市および彦根保健所管内の定点当たり患者数は過去10間の週別平均値より多くなっています。また、その他の保健所管内の定点当たり患者数については同じまたは少なくなっています。

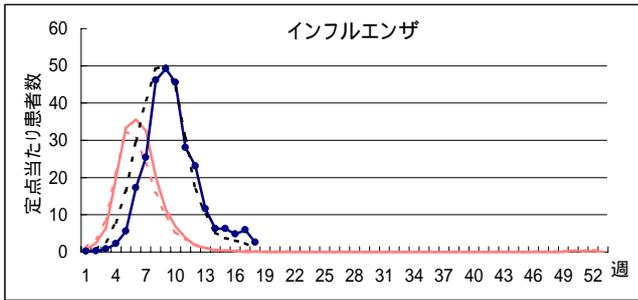
4) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成17年1月～4月)



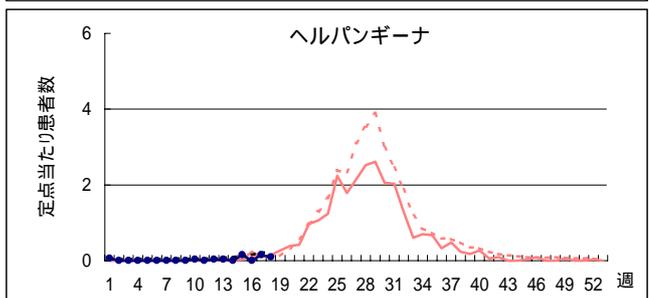
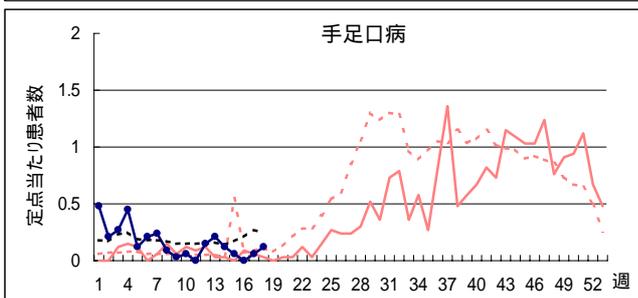
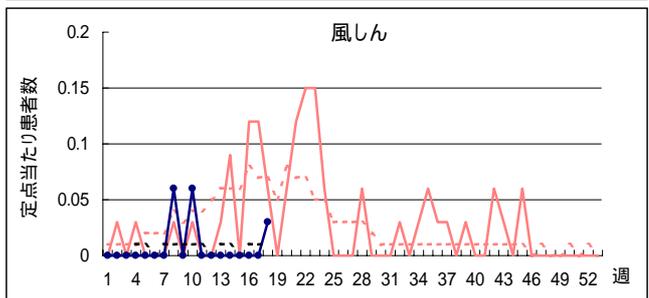
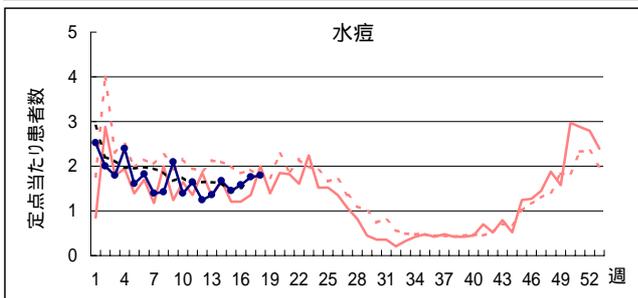
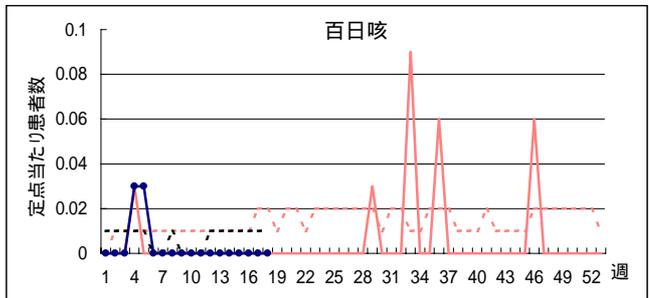
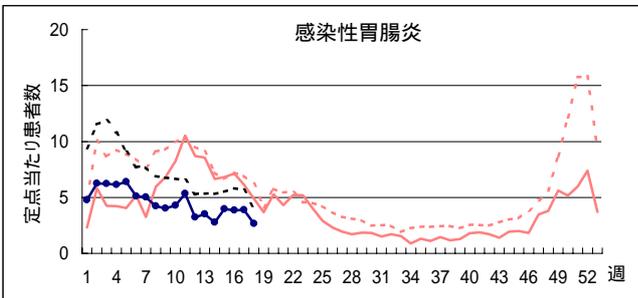
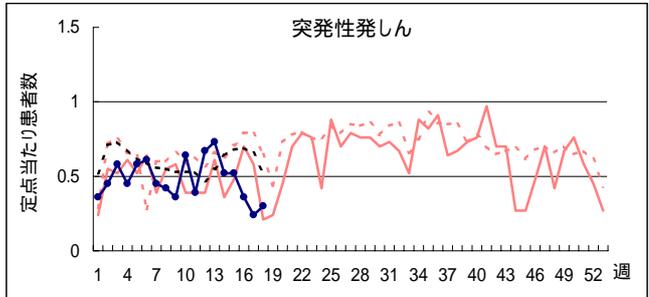
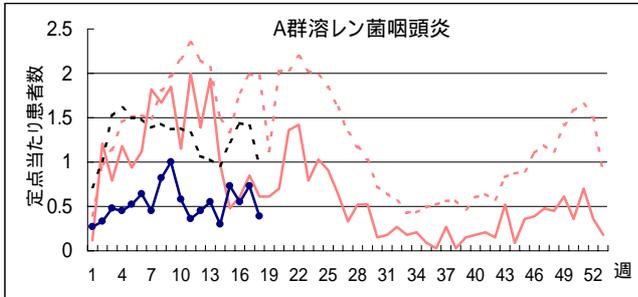
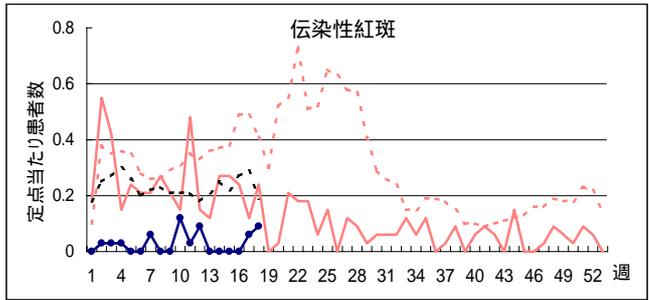
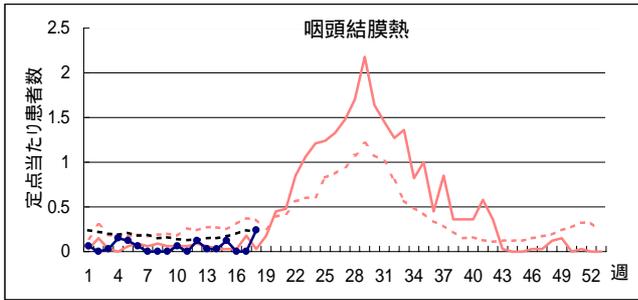
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器ヘルペスウイルス感染症およびPRSP感染症については変化していませんが、その他の疾患では減少しています(性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況のグラフ参照)。

各疾患の月別・性別発生状況は左記のグラフのとおりです。性器ヘルペスウイルス感染症については男性で減少していますが、女性では増加しています。また、尖圭コンジローマは男性で減少し、淋菌感染症は女性で減少しています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第18週、H17.1.3～H17.5.8)

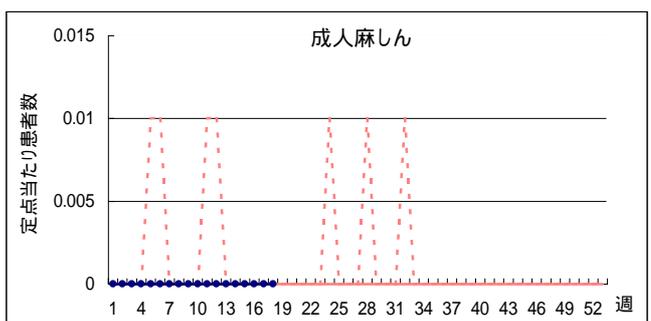
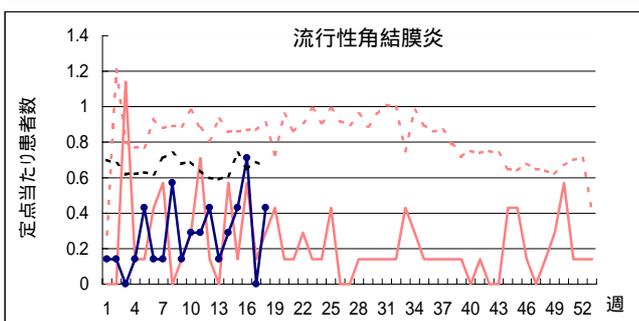
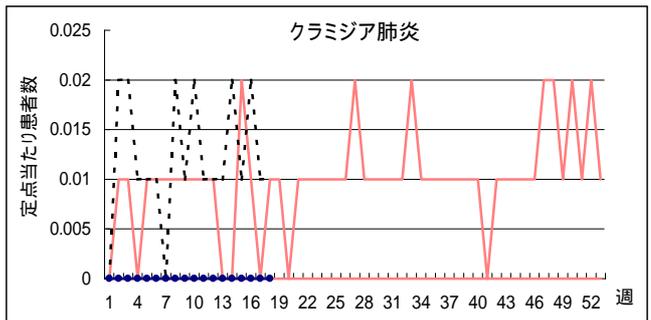
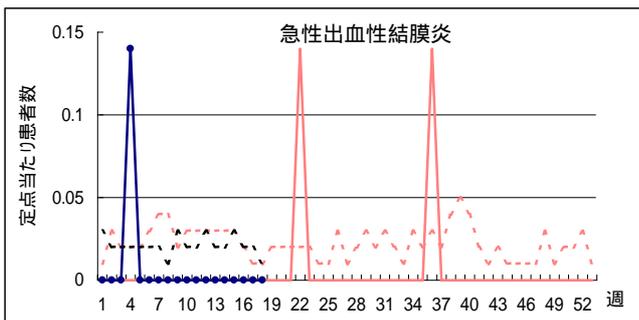
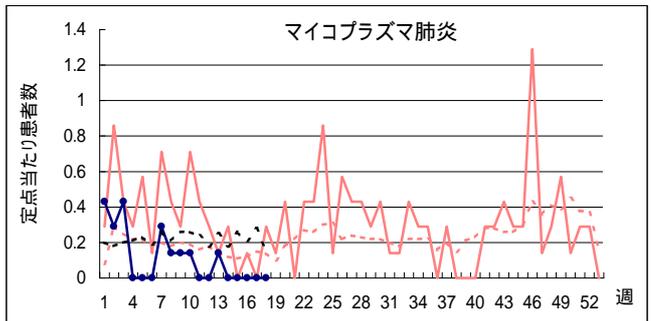
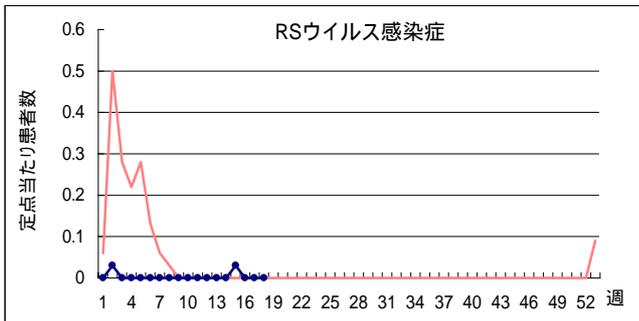
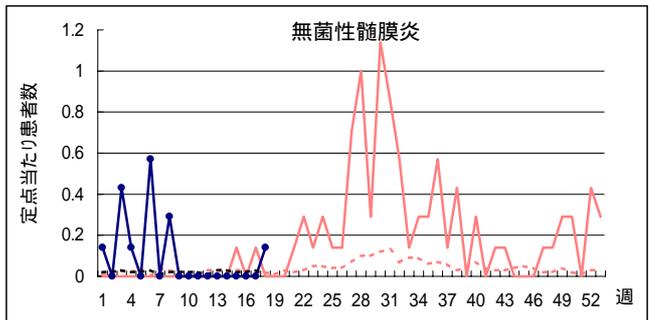
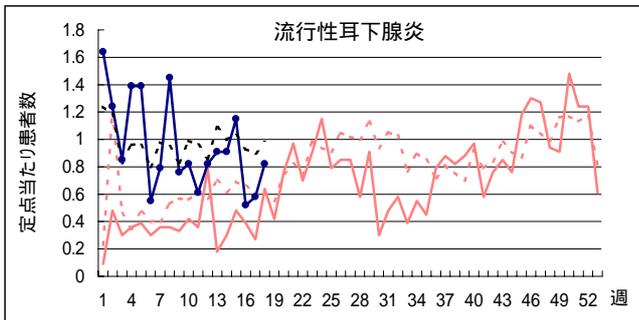
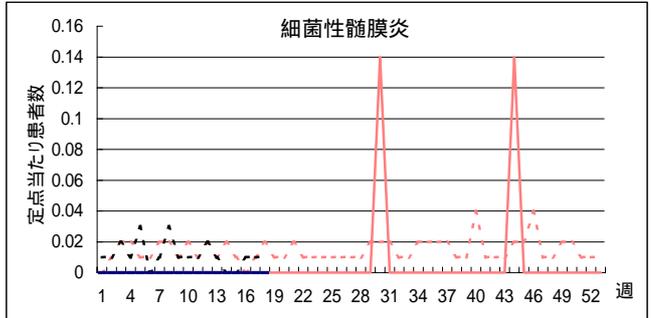
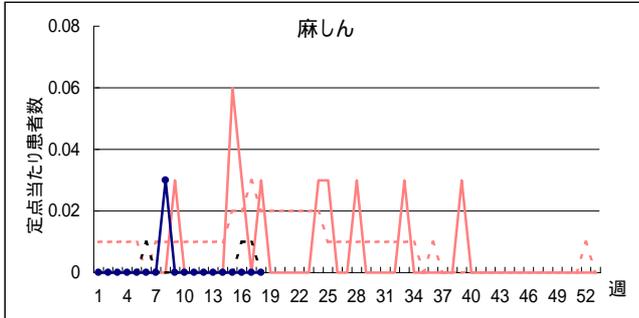


H16 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第18週、H17.1.3～H17.5.8)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

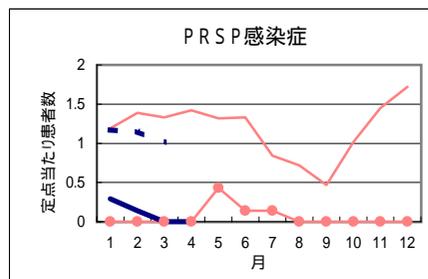
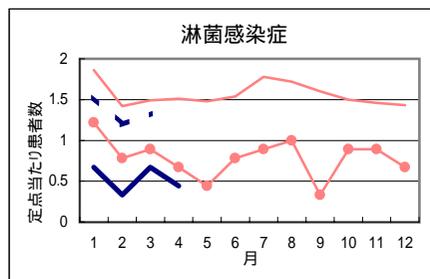
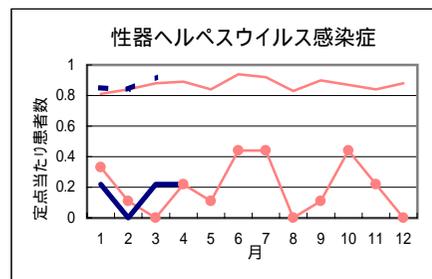
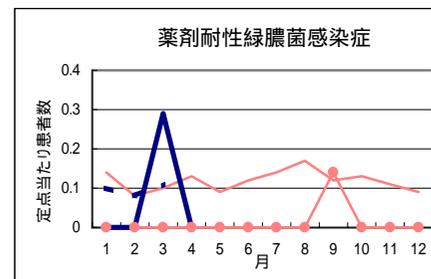
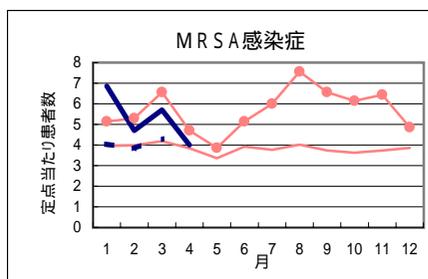
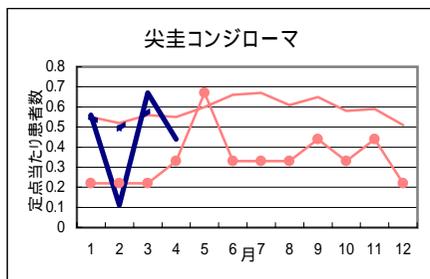
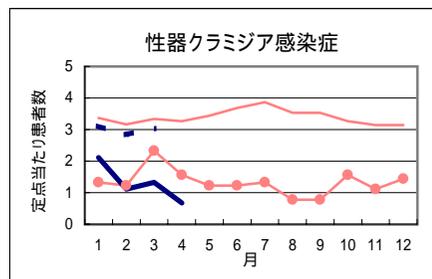


性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(滋賀県)

4月報 (集計期間:平成17年1月~4月)

戻る

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	19	10	12	6									47
	定点当たり	2.11	1.11	1.33	0.67									1.31
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	2	0	2	2									6
	定点当たり	0.22	0	0.22	0.22									0.17
尖圭コンジローマ	罹患数	5	1	6	4									16
	定点当たり	0.56	0.11	0.67	0.44									0.45
淋菌感染症	罹患数	6	3	6	4									19
	定点当たり	0.67	0.33	0.67	0.44									0.53
MRSA感染症	罹患数	48	33	40	28									149
	定点当たり	6.86	4.71	5.71	4.00									5.32
PRSP感染症	罹患数	2	1	0	0									3
	定点当たり	0.29	0.14	0	0									0.11
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	2	0									2
	定点当たり	0	0	0.29	0									0



H16 { 滋賀 ●●●●●
 { 全国 ●●●●●
 H17 { 滋賀 ●●●●●
 { 全国 ●●●●●

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌